



はぐくみ

『地域の絆で育てよう!』 高松市少年育成委員委嘱式



感謝状受賞者

10年以上

香川 直紀 栗田 寛 大熊 康子

5年以上

高木 慎一 松原 和樹 土居 一朗
大久保典恵 三谷 元美 中山 啓
北條 昌子 大橋 健朗 亀山 和雄
斎藤 信児 河合 雄太 田中 紘一
藤本 耕造 橋本 英敏 山路 愛子

【敬称略】

平成23年6月1日(水)市役所大会議室において、少年育成委員356名の方々に、大西市長より街頭補導・少年相談・有害環境排除・非行防止啓発等の活動を通し、健全育成の推進をお願いして委嘱状が手渡されました。本年度は、新委員を代表して、中央校区の青木隆明さんが将来を担う子どもたちの健全育成に取り組む決意を述べられました。

また、永年にわたり少年育成委員として御尽力いただきました18名の方々に、市長および少年育成委員連絡協議会長から感謝状が贈呈されました。続いての研修会では、高松北警察署の窪田史少年補導職員より講話をいただきました。

『はぐくみ』に寄せて

時代の変化とともに、子どもの生活も大きく変化してきており、子どもによる社会を震撼させるような事件が多発するとともに、児童虐待の増加等、子どもたちが被害になる事件も多くあり、子どもたちをめぐる状況には厳しいものがあります。



その原因には、地域や家庭の教育力の低下等、様々な要因が考えられると思いますが、人とつながる力、コミュニケーション能力の低下も要因の一つにあるのではないのでしょうか。

今回の東日本大震災では、人と人とのつながりの大切さ、協力し合うことの大切さをあらためて感じさせられました。子どもたちへの日常的なあいさつや声かけを大切にしながら、子どもたちの心にそっと心を寄せ、家庭・学校・地域の方全体で子どもたちを温かく見守り育てていくという、ごく当たり前のことが、今まで以上に必要とされているのではないかと思います。

私も高松市少年育成センターも、皆様とともに、子どもたちの健全育成活動や安全対策に取り組んでまいりますので、今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

高松市少年育成センター所長 武智 直



校区の活動紹介



栗林校区



陶芸教室

栗林校区青少年健全育成は、その年のテーマを決めて活動しています。従来からの活動である、あいさつ運動、見守り隊、SOSのお宅訪問などは、学校、PTA、各種団体などと連携しながら行っています。また、2年前から、もの作りによって人との出会いや完成した喜びを知ってほしいと考え、子どもたちと色々な、もの作りを行っています。親子や子どもだけの陶芸教室の参加・体験や、リース・ブーメラン・万華鏡・段ボールのうさぎ作りなど、地域の方々に先生になっていただき活動しています。

昨年は瀬戸内芸術祭があり、子どもたちと高松海あかりプロジェクトに参加しました。針金と紙を用いて、あかりのオブジェを作り、前夜祭ではオブジェを港に集結させるお披露目会にも参加しました。子どもたちは、はさみやカッターの使用など、危ないと言われていることや基本的なひも結びなど、いろいろなことにチャレンジしています。これからも、大人も子どもも楽しめるもの作りを計画していきたいです。

十河校区



積み木遊び

子どもたちは歓声を上げながら、今まで作り上げてきた積み木にぶつかり、けり散らしていきます。その後再び積み始めます。そしてそれを何度も繰り返します。昨年9月、十河小学校で行われた「1万個の積み木で遊ぼう」のひとつです。「1万個の積み木」を使い、子どもたちは思い思いの形を作り出していきます。高さを競う者もあれば、平面に長い長いドミノ倒しを作っていく者もいます。また、自分の背丈を越えるものを作り、その中に隠れる者もいます。積み木遊びは、子どもたちの創造力と想像力を育てるのにつけてです。

なお、「1万個の積み木」は、平成20年度高松市協働企画提案事業として塩江町のひのきの間伐材を利用して作られたものです。そしてその後、高松市内外の多くの保育所、幼稚園、小学校で利用されています。

十河校区では、このほか子どもたちの作る喜びを育てるため、保育園で「花の栽培」や「ひな祭り」を行い、そこへ小学生や保育園児が製作した作品を出品しています。



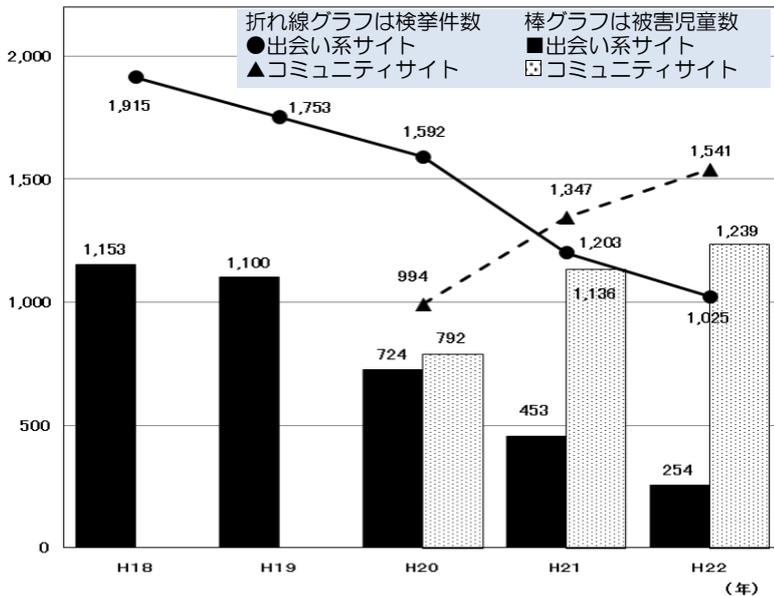
万華鏡作り



積み木遊び

コミュニティサイトに要注意!

(件・人)



左の資料は、H23.2.17 警察庁発表の広報資料です。「児童」とは、18歳未満の者を示しています。

★ 平成22年中に出会い系サイトを利用して犯罪被害にあった児童は254人で、前年と比べて199人(43.9%)減少。

★ コミュニティサイトを利用して犯罪(児童福祉法違反等)の被害にあった児童は1,239人で、前年と比べて103人(9.1%)増加。

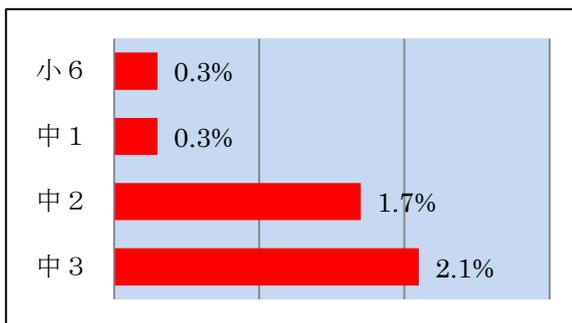
コミュニティサイトでの事件急増中!

★ **コミュニティサイト**とは、プロフやブログ、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)、ゲームに付属している**ミニメール**(会員交流サイト)などのことです。

★ 特に、最近はこうした**ミニメール**に悪意を持った大人がかっこいい若者や女子学生になりすまし、本当のメールアドレスを交換したり、携帯電話番号を交換したりして実際に会って事件に発展するケースが急増しています。

★ また、児童自身が興味本位や遊び相手やお金欲しさに自ら連絡(児童自身による誘引)して、事件になったケースもあります。

高松市の実態



人数に直すと・・・30人

同じ割合で、高松市全体の児童生徒の人数に直すと・・・

157人

高松市総合教育センターが平成22年に高松市立学校の小学6年～中学3年生(小学生1,421人、中学生2,077人)およびその保護者(3,498人)を対象とした抽出調査をしました。

その結果、高松市の小中学生のうち、実際にインターネットで知り合った人と会った(会いそうになった)と答えた割合は左のグラフの通りでした。

この割合を高松市全体の児童生徒の人数に直すとなんと、157人も児童生徒が危険にさらされていたこととなります!

また、ゲームサイトに付属している会員交流サイト(ミニメール)に悪口を書き込むなどして、同じ学校や他校生徒とトラブルになることも増えています。

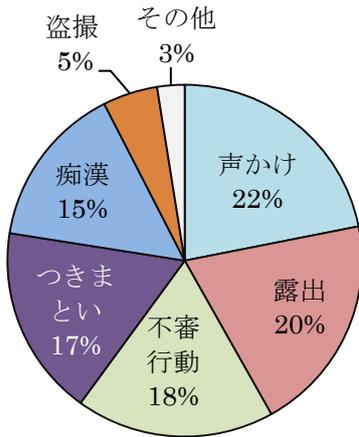
ネットで知り合った人とは絶対に会わない!

子どもたちと共に

ふしんしゃ き 不審者に気をつけよう！

少年育成センターでは、不審者に関する通報を受理しています。そして、その中から各学校やメール配信システムに登録している関係保護者に配信しています。

平成22年度 不審者通報件数
(合計160件)



通報件数で多かったのは、「声かけ」「露出」「不審行動」「つきまとい」です。発生の時間帯は、登下校中の時間に集中しています。また、日没後の遅い時刻に帰宅中の女子生徒をねらった「痴漢」や「露出」も増えています。

《不審者に近づかない！ 近づかせない！》

- 早めの帰宅や、複数での下校をこころがける
 - 見えにくく、人目のつかない場所を避ける
 - 危険を感じたらその場から離れ、近くの人や「こどもSOS」に助けを求める
 - 目と耳を働かせ、まわりの危険を早めにかちつける
- 不審者に会ったときは、すぐ110番！

こどもスマイルテレホン TEL839-2525

少年育成センターでは、不登校やいじめ、友人・家族関係など、学校や家庭での問題について児童生徒・保護者からの相談に応じています。

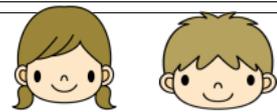
《ひとりで悩まず 早めに相談を》

ちいき そうだん 地域でも相談することができます・・・

これまでに少年相談員研修を受講された方々を紹介します。

子どもや保護者の悩みについてお気軽に御相談ください。【敬称略】

(亀阜) 高橋道一(栗林) 松本加代子(松島) 逢坂美樹・渡邊信子(鶴尾) 増田弘三・喜田良延(太田) 藪内君子(木太) 三上淳子・斎木真理子(古高松) 井藁智英美・十河節子(前田) 神内絹代・六車由佳(川添) 佐原美紀(仏生山) 植松宏子・岡澤純代・佐次頼治・杉ノ内仁(一宮) 大山和徳(川岡) 中山節子(円座) 野網朝二郎・葛西優子(弦打) 山崎佐由美(鬼無) 久保美智子(川島) 小島常文(東植田) 毛利貴子・秋山みちよ(太田南) 矢嶋静子(木太南) 植田泰三・喜田清美・多田治(古高松南) 長町隆司・芳田洋子(木太北部) 大河内育代(塩江) 市原武・光本信一(庵治) 尾野健(浅野) 藤澤正(国分寺北部) 後藤千代(国分寺南部) 小松由美



たの なつやす あんぜん 楽しい夏休みを安全にすごしましょう

- 交通ルールを守ろう
- 海や池・川の事故に注意しよう
- 不審者に用心しよう